

アルベルト・ゼツダ先生の訃報に接し、心より哀悼の意を捧げます

大阪音楽大学の特別名誉教授で、イタリア・ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルの創設者、芸術監督であられたアルベルト・ゼツダ先生のご逝去の報に接し、心から哀悼の意を捧げます。昨年12月に大阪音楽大学の定期演奏会でお元気に指揮を執っていただき、メンデルスゾーンの《イタリア》交響曲やロッシーニの《スターバト・マーテル》で素晴らしい演奏をご披露頂くとともに、学生たちに筆舌に尽くしがたいほどの、熱心で心のこもったご指導を賜った先生が亡くなられたとは、今も信じられない気持ちです。

2015年の第53回大阪国際フェスティバルにおける、ロッシーニのオペラ《ランスへの旅》における共演で、本学はアルベルト・ゼツダ先生と運命的な出会いを果たしました。それ以来、昨年大阪音楽大学定期演奏会における再会に至るまで、先生からは本当に何物にも替えがたい貴重な多くの教を頂きました。先生に対する感謝の気持ちはとても言葉で尽くすことはできません。本当にありがとうございました。

大阪音楽大学一同、心より先生のご冥福をお祈りしますとともに、奥様をはじめ、家族の皆様に、心よりお悔やみの言葉を申し上げたいと思います。

2016年3月9日

学校法人 大阪音楽大学
理事長 中村孝義



(左) 第59回大阪音楽大学定期演奏会での指揮

Infinitamente grato per
l'onore di avermi voluto
membro della Vostra bella
comunità
Alberto Zedda
9 aprile - 2015

(右) ゼツダ先生の直筆サイン